

参考指導事例集の活用

○ 本冊子は、今後各学校が、教育活動全体を通じた「志教育」の推進の際に参考として活用するために作成したものです。各教科，道徳，外国語活動，総合的な学習の時間及び特別活動等の取組を『かかわる』，『もとめる』，『はたす』の視点で見直し，指導計画の作成や実践を試みる際，参考となる事例を集めています。これらすべてを各学校が実践しなければならないというものではありません。本冊子を活用し，それぞれの実情に応じた自校ならではの取組を積極的に進めていきましょう。

各学校での活用にあたって

〈 ヒント集の見方 〉

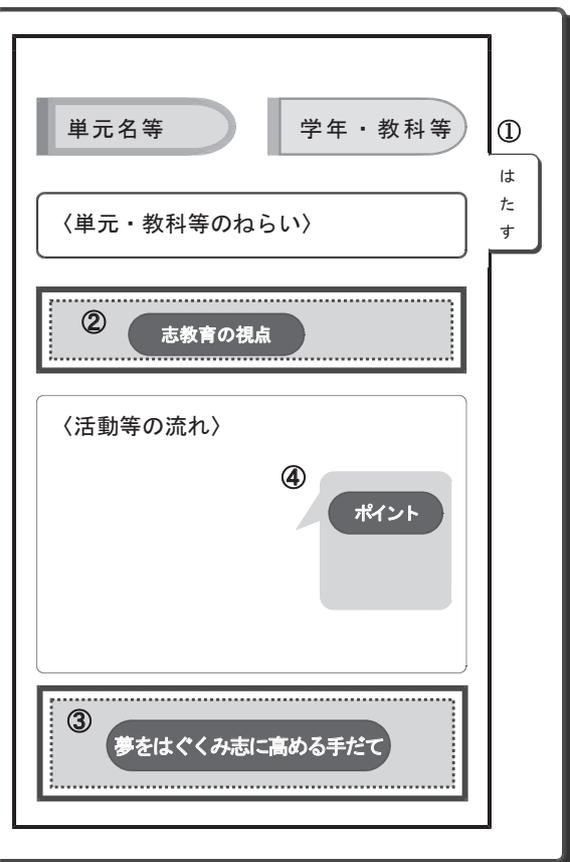
右図は，ヒント集の基本フォームです。

①は，「志教育」の3つの視点のうち，どの視点で取り上げたかを示しています。

②は，この授業を「志教育」の視点でとらえたときの指導のねらいを示しています。

③は，「志教育」の指導のねらいを達成するための手だてを示しています。

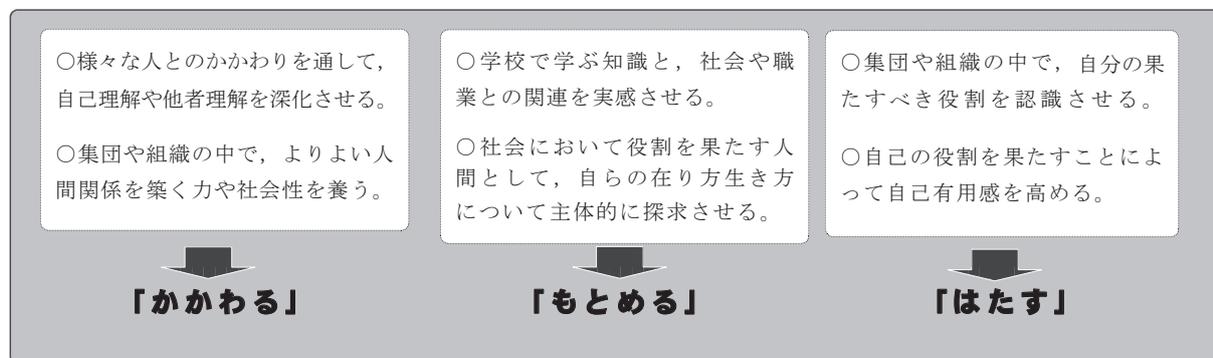
④は，「志教育」として学習活動を展開する際のポイントを示しています。



学校全体で事例の効果的な活用について話し合う場を設けるなど，「志教育」の推進について共通理解を図りましょう。

今後の取組

本冊子を活用し、自校の指導計画を作成してみましょう。その際は、「志教育」の3つの視点を確認しながら進めることが大切です。



〈「志教育」3つの視点〉

- 指導計画の作成にあたっては、学習活動や学校行事、清掃活動やあいさつ運動など、今取り組んでいる活動の中から、「志教育」として実践することができるような内容を学年部や教科部などで話し合ひましょう。

また、実践を試みながら、年間指導計画に朱書きを加えるなどして、「志教育」の年間指導計画の自校化を進めるなど、取り組みやすく実効的な方法を工夫しましょう。

- 各学校では、実践事例を累積していくなど、自校化の観点を意識しながら取組を進めましょう。

「志教育」担当教諭の役割は

「志教育」担当教諭の役割は、以下のようなものが考えられます。

- ・ 自校の志教育の在り方についての共通理解に関すること
 - ・ 志教育の指導計画の作成に関すること
 - ・ 志教育推進のため、各教科、校務分掌等の担当者や各学年との連携に関すること
 - ・ 家庭や地域への自校の取組の発信や連携に関すること
 - ・ 他校種の学校との連携に関すること
 - ・ 志教育推進に係る外部人材や関係機関との渉外に関すること
- 等